



2024年5月9日

各位

会社名 株式会社かわでん
代表者名 代表取締役社長 相澤 利雄
(コード: 6648 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 神保 能郎
(TEL 03-6433-0135)

剰余金の配当（特別配当）及び
株主提案に対する当社取締役会意見に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしました。また、当社は、当社の株主（以下「提案株主」といいます。）より、2024年6月26日開催予定の当社第103回定時株主総会（以下「本定時株主総会」といいます。）における議題についての株主提案の行使に関する書面（以下「本株主提案書面」といいます。）を受領しておりましたが、本日開催の取締役会において、本株主提案に反対することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（特別配当）について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月11日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
1株当たり配当金	50円 (普通配当 40円) (特別配当 10円)	40円	40円
配当金の総額	160百万円	—	128百万円
効力発生日	2024年6月27日	—	2023年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つに掲げており、将来の事業展開と経営体質の強化のための内部留保を考慮し、かつ安定的な配当を行うことを目標としたうえで、利益に応じた配当を実施していくことを基本方針としております。2024年3月期においては、期初の時点では、前年度より継続する部品供給の制約等から、生産効率が悪化することや、納期設定が困難になることなどを見込み、非常に厳しい業績を予想していたものの、株主の皆様及びお取引先の皆様のご支援の下、このような不透明な状況を乗り越え、結果として、2度の業績予想の上方修正を経て、売上高が21,334百万円（期初予想より12.3%増）、営業利益が1,134百万円（期初予想より74.6%増）、経常利益が1,153百万円（期初予想より83.0%増）、当期純利益が744百万円（期初予想より

86.1%増)、1株当たり当期純利益が232円39銭(期初予想より86.1%増)となるなど、期初の予測を遙かに上回る好業績を収めることができました。そこで、当社は基本的には普通配当を原則としておりますが、人的資本強化、生産能力の維持・強化、技術力向上、IT・DXによる業務効率向上その他設備投資等に充てる資金の必要性や、2025年3月期の業績見通し等を総合的に勘案した結果、株主の皆様のご支援に報いるために、本定時株主総会においては、剰余金の処分議案として、普通配当1株当たり40円に特別配当1株当たり10円を加えて、期末配当1株当たり50円でご提案させていただくことを決議いたしました(なお、本定時株主総会の招集決議は、追って別途行います。)

この提案が本定時株主総会で承認可決されると、実施済みの中間配当金1株当たり40円と合わせて、年間配当金は1株当たり90円(普通配当80円、特別配当10円)となります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	40円	50円 (普通配当 40円) (特別配当 10円)	90円 (普通配当 80円) (特別配当 10円)
前期実績 (2023年3月期)	40円	40円	80円

2. 株主提案に対する当社取締役会意見について

(1) 提案株主

個人株主1名

※提案株主は個人株主であるため、氏名の開示は控えさせていただきます。

(2) 本株主提案の内容

① 議題

剰余金の処分の件

② 議案の内容及び提案の理由

別紙「本株主提案の内容」に記載のとおりです。

なお、別紙「本株主提案の内容」は、本株主提案書面の該当部分を原文のまま掲載しております。

(3) 本株主提案に対する当社取締役会の意見

① 当社取締役会の意見

当社取締役会としては、本株主提案に反対いたします。

② 反対の理由

当社は、上記のとおり、株主への利益還元を重要な経営課題の一つに掲げており、将来の事業展開と経営体質の強化のための内部留保を考慮し、かつ安定的な配当を行うことを目標としたうえで、利益に応じた配当を実施していくことを基本方針としております。

当社は、当該基本方針に基づき、これまで20年にわたり、前年に比して年間の配当額を下げることはなく、安定的な配当を継続してまいりました。2023年3月期の当期純利益は約320百万円であり、前期比の50.5%減となりましたが、年間の配当額の減配は行わず、前期と同額を維持さ

せていただくことで株主の皆様のご支援に改めてまいりました。当社は、当期（2024年3月期）につきましては、前記のとおり、株主の皆様及びお取引先の皆様のご支援の下、想定以上の好業績となったことから、特別配当を実施することといたしますが、今後も安定的な配当の継続に加え、さらなる株主還元の充実を検討してまいります。

また、本株主提案において、当社の現預金の水準についてご指摘をいただいております。しかしながら、当社を取り巻く経営環境は、為替変動や不安定な国際情勢の長期化により、先行き不透明な状況が続くと予想されます。こうした不透明な経済情勢の中で、当社の中長期的な企業価値の向上を図るためには、株主還元のみならず、人的資本強化、生産能力の維持・強化、技術力向上、IT・DXによる業務効率向上その他設備投資等に資金を配分し、内部留保を活用していく必要があると考えております。

とりわけ当社の主要生産拠点である山形工場は、1960年代に建設された建物が多く、現時点で築60年以上経過し老朽化が著しいことから、これらの工場の改築等のため相当な規模の設備投資を検討する必要があります。そのため、当社は、これらの設備投資を含む中長期的な設備投資計画の策定を現在、継続して進めております。

このような取り組みにより、中長期的な生産能力を維持し、今後予想される経営環境の変化に対応し、今まで以上にコスト競争力を高め、さらに、市場ニーズに応える技術・製造開発体制が強化され、安定した利益の確保に繋げるべく努めております。当社としましては、生産能力の維持のみならず積極的な成長投資を実行していくことで中長期的な企業価値を向上させ、株主還元への資金配分を強化し、もって株式価値の向上を図ることを考えております。

これに対し、本株主提案は、当社の中長期的な資金配分の必要性を踏まえることなく、短期的な株主還元に着目してなされたものであるため、当社の中長期的な企業価値の向上に資するものではなく、当社の株主の皆様に対する将来の安定的な株主還元の継続も困難にするおそれがあるものだと考えております。

なお、本株主提案において、当社のROEの低迷を指摘いただいておりますが、当社は現状のROEの水準を漫然と放置しているものではなく、株主の皆様視点から見た収益性を重視する観点からROEを主要な経営指標として位置づけ、常にコスト削減意識を持ち収益改善に努めるとともに、資本効率の向上を目指し、企業経営に取り組んでまいります。

以上から、当社の取締役会としては、本株主提案に反対いたします。

以上

別紙「本株主提案の内容」

※本株主提案書面の該当部分を原文のまま掲載しております。

1. 提案する議題の内容

剰余金の処分の件

本議案は、第 103 回定時株主総会において当社取締役会が「剰余金の処分の件」を提案する場合には、同提案とは、独立して提案するものである。

剰余金の処分を以下のとおりとする。

① 配当財産の種類

金銭

② 1 株あたりの配当額

期末の配当金を普通株式 1 株につき金 80 円とする。

中間配当金 40 円と合わせると年間の配当金は、1 株あたり 120 円となります。

総額は、80 円に 2024 年 3 月 31 日現在の発行株式数総数（自己株式を除く）を乗じて算出した金額となります。

③ 剰余金の配当が効力を生じる日

本定時株主総会の日

2. 提案の理由

2012 年 3 月末に 28 億円であった当社の保有する現預金は、2023 年 12 月末現在 75 億円までに膨らんでおります。

これは、多大な資金を必要とする投資計画が存在しないにも関わらず、漫然と内部留保金を増やし続けた結果であります。

株主資本の 50%に相当する現預金は、その保有を合理的に説明できる金額をはるかに超えており、加えて現預金は、保有していても利益を生まない為に、株主資本利益率（以下 ROE）を低下させ、当社の株主価値を低下させる最大の原因になっております。

（結果、当社の株は、2016 年から 8 年以上 1 株あたりの純資産を大きく下回る価格で取引されています）

これ以上、現預金を増加させる資本政策は、ROE をますます低下させる事となり株主に何も利益をもたらしません。

以上の事実から、「積極的に利益を株主に還元する事が、当社の株主価値を高める最善の方法である」という結論に至ります。

もし、当議案を当社取締役会が反対するのであれば、株主価値を向上させる（ROE を高める）具体的な計画を提示して反対して頂きたいと思えます。

（2023 年の有価証券報告書において 3 年で 20 億円の設備投資計画の提示がありますが、これは、減価償却費で充分補える金額であり ROE を改善させる計画では、ありません）